



H 2 1 年 7 月 2 7 日

さくしん

下氷鉤小学校

(校長室だより 1 5)

校長 大内 徹

登校日数 7 6 日の一学期も今日が最終日でした。一年生が教室前のテラスで育てているアサガオの蔓も高く伸びて葉っぱも沢山ついてきました。四月に入学した一年生もこの一学期の間に大変たくましく成長し、立派な「ひがのっこ」となってきました。

先日、こんなことがありました。朝、挨拶運動を兼ねて校内を一回りしていますと、一年生の男の子や女の子が私のあとをついてきます。「おはようございます」の挨拶と一緒にしてくれるのです。私の歩幅の方がはるかに大きいのですが、ピョコピョコと一生懸命ついてくる姿がとても可愛らしいです。北校舎から南校舎へと各階各教室を訪れながら、校内を一巡してきて、「ああ、暑い」と、事務室で一息ついていまして、あとを追ってきた一年生が、たまたま入り口の机にだれかさんが置きっぱなしにしていたカブトムシの籠を見つけ、その中を覗きながら遊んでおりました。カブトムシのことで盛り上がっていると、予鈴のチャイムが鳴りました。するとどうでしょう。一年生の一人が「あっ、チャイムが鳴っている。行かなくっちゃ！」と叫びました。他の三、四人の子ども達も「ああ、鳴った」と言いながら、さっと足早に事務室から出ていきました。ともすると、事務室の先生方に「チャイムが鳴ったわよ」と言われないと出ていけない子どもが多いのですが、この場面では、自分たちでチャイムと共に行動する姿、時を守ろうとする姿があったのです。何気ないことのようにですが、私は、すごいことだなと感心しました。一学期が終わろうとしているこの時点でこのような規律正しい行動がとれているということは、この一年生にとって一学期の大きな成長と言えるでしょう。(この四ヶ月間に身につけ、できるようになったことはきっと他にも沢山あるかと思っています。)

本日はお子さんが通知表をお家に持ち帰りますが、成長点は何か、今後の課題は何か、静かに振り返らせ、今後の学習や生活について考えさせることができれば幸いです。兄弟姉妹のいるお子様の家庭では、くれぐれも安易な兄弟姉妹の比較などはなさらないようにお願いします。私事ではありますが、男 6 人兄弟の末っ子として、明治生まれの親爺から「駄目だ、駄目だ」と言われながら育った私は「ダメ」という思いから脱するのに随分時間を要しました。様々な個性や持ち味をもった一人の子どもとして、温かな目でとらえ、励ましの言葉や家庭としてのご指導をいただければありがたいです。いよいよ明日から夏休みです。都会の小学校とちがい、長野県の小中学校の夏休みは大変短いです。しかし、短いなりに思い出に残る充実した夏休みになるとよいです。

有名な数学者である秋山 仁さんが、夏休みに向かう子どもたちに心がけてほしいこととして、次のようなことを提言しておられましたのでご紹介致します。(,07 信毎 教育欄、コンパスより)

- 一、なるべく外に出て自然に触れ、動物や植物の生態を観察するとともに、それらの世話をしよう。
- 二、一人でゲームなどして遊ぶより、友と一緒に面白いことを立案し、ワイワイガヤガヤ楽しもう。
- 三、せっかくの長期の夏休みだから、努力の習慣を身につけよう。例えば、毎日早起きするのもいいし、ラジオ体操でもいい、欠かさず日記をつけることでもよい。大切なのは継続することだ。
- 四、この夏の思い出になるように、自分で「これは」と決めた目標を最後までやり遂げよう。たとえば、大きな芸術作品をつくるとか、水泳で百メートル泳げるようになるとか、自分でやりたいことなら何でもよい。それをやり遂げれば、この夏の思い出になるばかりか、きっとこれからの人生、自信につながり、挑戦へ

とつながると思う。・・・

これらの四つのことはあたりまえのことのようですが、大変やりがいのあることかと思います。ご家庭でも指導されて、やらせてみてはいかがでしょうか。

さて、項目の（一）に関わることでもあります。本校の校章にはホタルが三匹おります。本校に赴任した昨年の四月来、校章には三匹のホタルがデザインされているのに、本校周辺にはホタルの舞う光景が見られないことを寂しく感じておりました。脇に井戸があるのですが、故障したままになっていました。水脈はあります。井戸があれば、そのきれいな水を用いて噴水用にも使えます。井戸から水を引いてビオトープを作って、理科学習にも供することができます。水環境を整えれば、校章の中のホタルを復活させることができるのではないかという夢のようなたわごとを、祖父母参観日の折にも校長講話の中でお話したこともありました。井戸のことを英語では well と言うのですが、それこそ、井戸が復活すればいろいろなことができてイードと思っておりました。地域の学校関係者の方々にも相談して、井戸復活の可能性を探ってきましたところ、この度、区長様方・学校関係者皆様のご尽力、お骨折りのお陰で、学区・本校が長野県の「地域発 元気づくり支援金事業」の事業団体の一つとしての認可をいただきました。126万円の支援をいただきながら、早速、井戸の復活、水路工事、ビオトープづくりを一括した、「ホタルの郷再生事業」に着手する運びとなりました。7/23（木）に「ホタルの郷再生事業」発足の会をもちました。川の堤や水路などのコンクリート化に伴い、ホタルの幼虫の餌となるカワニナが生息しにくい状況もありますが、伊那東小学校のように学校のビオトープで取り組んでいる実践もあります。ホタルの再生には、水と熱意が必要であると言われます。ホタル再生に向けた取り組みをしながら、本校の自然環境、教育環境をさらに整った充実したものとしていくことができると願っております。今後、子ども達も交えて関係者でホタルの学習会も計画していく予定であります。鮑会の皆様やPTAの皆様方にもお力添えをお願いすることもあるかと思いますが、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

話は変わりますが、22日には（皆既）日食がありました。46年ぶりということで、学校では理科専科の鈴木先生が遮光板を各学級に用意して下さいました。朝は曇っていましたが、日食の時間帯にはお天道様も顔をのぞかせ、子ども達は不思議な天体現象を自分の目で確かめることができましたようであります。私にとっても、宇宙の摂理、自然界の摂理に支配され、その中で存在する私たちであることを実感すると共に、この宇宙や自然界への畏敬の念を改めていただいた瞬間でありました。宇宙的、天文学的スケールで測ると、私たちの生命や存在は極めて小さく、はかないものではありません。が、自分の心の中の宇宙（space）は広く大きく構え、想像力や思考力を働かせながらよい仕事をして、この世に生を授かった者としての証を立て示していかなければならないあと心の中で呟きながら、日食という天体ショーを見つめておりました。皆様は、どのような想いで日食をご覧になられたのでしょうか。

最近、携帯やメールによるトラブルや被害が新聞・テレビ等で問題になっております。携帯を持っている中学生や小学生も少なからずいるようではありますが、情報モラルをしっかり守って、適正な使い方をしていないと被害やトラブルに巻き込まれる可能性があります。携帯電話での長話や頻繁なメールの送受信など、子どもたちの文化や生活スタイルは大人のそれらの反映でもあります。私たち大人にも、携帯やメールの使用については節度と良識が求められます。頻繁な携帯電話やメールにより、心的ストレスを感じる方もいらっしゃるようです。また、メール等を通して、無責任で根拠のない情報や伝聞の流布による迷惑もありえます。子どもたちを携帯やメールの情報禍から守ってやれるように、また、子ども達ばかりでなく私たち大人も、生活の静寂、心の安定を守ることができるよう、努めていくことができれば幸いです。

トマトとメロン

トマトにねえ
いくら肥料やったってさあ
メロンにはならねんだなあ

トマトとね
メロンをね
いくら比べたって
しょうがねんだなあ

トマトより

スマート SMART Stay Seated Having Materials Respect Others Attentions Try
地位 d さな

価値の多様性 何をやってもいいような いかなる言動に対するいいわけ 理由付け 絶対的なものがあるような気がする 他人の迷惑になっていないか 他人のプライバシーへの侵入はないか

子どものメール 小学生でも携帯をもっている 持たせない 一長一短

メール 返信に追われる姿 極端な例? 電車やバスに乗り合わせると 周囲の人々に目をやると必ずといっていいほど 携帯画面に目をやっている 携帯がお友達 携帯の奴隷と化していないか と言っている私も 左手の親指だけでメールの早撃ち パソコンも A ~ z まで 3 分で 20 回はキーをたたける私 一方 漢字を忘れる 情けない 指を使わないといけない 脳のどこかが退化しているような心配

高校時代は電気科 大学は教育学部の英語科 奇妙な人生を歩んできた

昇降口前の庭の樹木から落ちての骨折 悩む 怪我をしながら育っていく子ども達

かく言う 自分も 小5のころ 家の前の電車の鉄橋を歩いて、走って渡る途中 踏み外して 橋桁の間から(?)落ちて気を失った 苦い痛い思いをした経験 今でも左親指のつけねあたりに負傷の痕跡 見る度に 小学校時代 やんちゃな自分を思い返す

当時、鉄橋を渡ってはいけないなどと言われたことはなかった 今では大きな問題となりそうな行為である 時効? もっとも全盲の親父の知る所ではなかった

「携帯なんかなくても友達是可以るよ」 サマーセットモームであったか 電話に出ることのおっくうさ

困るのはこちらの都合に関係なく、かかってくる電話 メールである せいぜい毒されぬように距離をおいて携帯やメールとつきあっていこうと思っている マナー モラルの低下

大人の世界も高校生のそれと変わらぬ状況があると伝え聞く おっぱいをやりながらメールを打っている母親の姿を見たことがある おっぱいでお腹かが満たされても、心の中は満たされないだろうな 食卓 食事のあとのお茶 ゆっくりと語りあう時間 face to face (相手の顔を直に見ながらの会話) 大切にしたい 第三者、他の人にかかわる情報 (事実に基づいた情報ならまだまし) が一人歩きしていないだろうか

無責任に 他家のお子さんのことについて、あーだこうだと話さぬように心がけてきている となえ、我が子のお友達のことで知っていることがあっても、そのお子さんや親御さんが聞いて不愉快に感じたり、切なく思ったりするようなことは絶対に話さぬように、たとえ聞いても、他の方に伝えないように、うわさ話的には扱わないようにと心がけてきている 夫婦げんかはあっても、そのことだけは少なくとも一致している。

一日一刻 小さな一生 内なる自分をしっかりと耕さねばならぬ

今年は戸隠の山でもタケノコが例年より豊作 行くたびにタケノコを持ち帰った

キュウリやささぎ等 我が家の菜園にも恩恵をもたらしている 恵の雨 幸い 6年生の海の学習の日には雨が降らなかった 合間を縫って行ってきた感じ しかし常にお天気は自分の味方をしてくれない 今日は〇〇があるから晴れてほしい と願うのは勝手であるが 時に意地悪をしておなるいるかのごとく雨降り 自己中の私がある時にはなんで降るの? そのような自分自身を戒める雨なのかもしれない うまくいくこと うまくいかぬこと 空の

天気と同じ　そのように考えられるようになってきた私

先日の祖父母参観日には大勢の方においでいただき、また校長講話も一生懸命耳を傾けて聞いて下さり本当にありがたく思いました